

東京都災害ボランティアセンター

アクションプラン 推進会議

東京都災害ボランティアセンター アクションプラン推進会議
(事務局)東京ボランティア・市民活動センター 加納佑一

東京都地域防災計画の改定(平成24年9月)

- ◆災害時には、東京都と東京ボランティア・市民活動センターが「東京都災害ボランティアセンター」を設置する。
- ◆市民活動団体と連携して、東京都災害ボランティアセンターを運営する。(平成25年3月の協定により、市民活動団体と協働で運営することが明記)
- ◆平常時から、東京ボランティア・市民活動センターを中心に、市民活動団体等と協働し、幅広いネットワークを構築する。

東京都災害ボランティアセンター運営等 検討委員会設置

- ◆NPO・NGO、社協、民間団体、行政など、被災者支援に関わる多様なセクターによる委員会を設置
- ◆平成25年2月～平成26年3月まで計7回の委員会を開催
- ◆災害が起きる前の取組みを重視
- ◆平時に取り組むべき「アクションプラン(5か年の中期実行計画)の策定。(アクションプランの内容は別紙参照)

アクションプラン推進会議の設置

- ◆アクションプラン推進会議(5か年の中期実行計画)を進めていく会議体。
- ◆今年(26年)春に準備会を2回開催し、7月に設置。
- ◆幹事団体は、東京都災害ボランティアセンター運営等の検討委員会に参加していたネットワーク型組織を中心に構成。(別紙資料参照)
- ◆幹事団体(7団体)以外に、NPO・NGO、民間団体等が全体会会議に参加(都もオブザーバー参加)。

◆アクションプラン推進会議の目的は「被災者支援」。

◆1つめのポイントは…

1. 災害VC支援だけではない！
 - 災害VC支援は被災者支援の一部ではない
 - 裏を返せば、被災者支援は災害VC支援だけではない。

◆2つめのポイントは…

2. 多様な団体との連携の場づくり！
 - 災害時には、色々な団体が被災者支援を行う。
 - 例えば、女性支援の団体、外国人支援の団体、法律相談のできる団体、雇用相談ができる団体など
 - だから、一緒に取り組めば広域で多様な被災者支援が可能になるのでは？
 - そういう場を災害が起きる前に作る！

◆アクションプラン推進会議の役割は、「災害前」にある！

- ◆ アクションプランという具体的な取組みを通して、様々な団体が連携・協働できる場を作る。
 - 人材育成
 - 多様な団体の協働プログラム
 - ネットワーク
 - ブロック制によるネットワーク作り
 - 災害VC・設置運営
 - 災害VCについての共通認識
 - 情報
 - 広報担当のスキル・テクニックの共有

- ◆ これまでつながることが出来なかったセクター同士のつながりを作る。
 - 行政との連携
 - ボランティア部局・福祉部局・防災部局など
 - 都域／区市町村域の行政
 - エリアとテーマのつなぎ
 - (例) 社協(エリア)とNPO・NGO、企業、社会団体(テーマ)
 - (例) 自治会(エリア)とNPO・NGO、企業、社会団体(テーマ)

◆アクションプラン推進会議の課題は、この3つ！

1. 行政との連携

- ◆ 東京都災害対策本部との情報共有

2. 財政

- ◆ 継続した取組みを実施するための財政基盤の確保

3. 主体

- ◆ 取組みへの協力ではなく、一緒に取り組むことのできる組織(主体)とは？